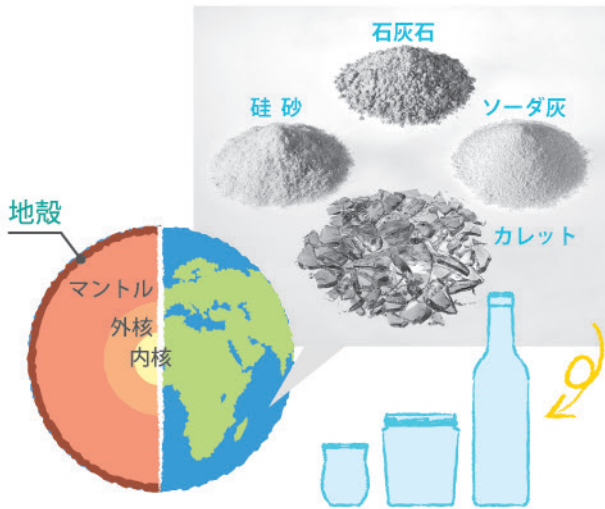


意外と知らない?! ガラスびんの豆知識 ~身近にあるガラスびんの「そうなんだ!」をご紹介します~



【地殻とガラスの成分比較】

成分	地 殻	ガラス
二酸化ケイ素 (SiO ₂)※	65(%)	74(%)
酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃)	10	1
酸化カルシウム (CaO) 酸化マグネシウム (MgO)	12.5	9.5
酸化ナトリウム (Na ₂ O) 酸化カリウム (K ₂ O)	6	15.5
酸化鉄 (FeO)	6	—

今回は普段あまり意識せず使っているガラスびんについて、一般的に知られているようで意外と知らない『**ガラスびんの豆知識**』をご紹介します。何気ない話題として披露すれば「へー、そうなんだ!」とお相手からの反応は請け合いです。



ガラスびんは大地から生まれた容器?!

小学生の頃、「紙は木材」、「鉄は鉄鉱石」、「樹脂は石油」が原料と学んだ記憶がありますが、展示会や出前授業などで主婦や学生に「ガラスの原料は?」と問うと、「???'と答えに困ってしまうケースがほとんどです。

ガラスびんの主原料はガラスを細かく砕いたカレットですが、そのガラスは地球の地殻に含まれる**二酸化ケイ素**が主成分の「**珪砂**」と呼ばれる砂からできています。他に、化学的耐久性をもたせる「**石灰**」(酸化カルシウム)や、溶融温度を下げる塩由来の「**ソーダ灰**」(酸化ナトリウム)も含め、いずれも天然素材のリユース、リサイクルに適した循環資源からできています。地球の地殻とほぼ同じ組成でできている、つまりは**“大地から生まれた容器”**がガラスびんなのです。

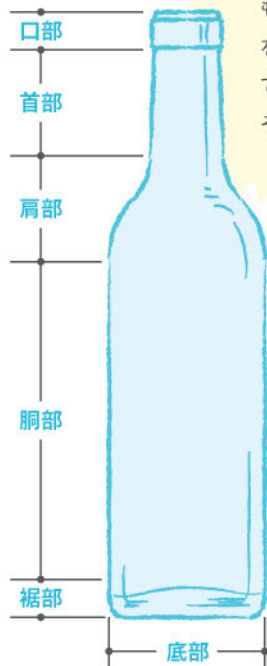
※二酸化ケイ素 (SiO₂)

地殻中では酸素の次に多い成分。これだけでは産出しませんが酸化物または珪酸塩となり、岩石や土の主成分となっています。

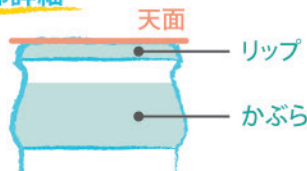


ガラスびんの各部の名称は人のカラダみたい?!

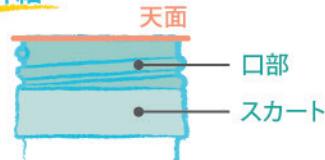
日常では「びん」もしくは「ガラスびん」と一口に言いますが、ガラスびんの各部位には名称があります。もともと欧米の標準名称を参考に、日本自動製壺協会(現在の日本ガラスびん協会)が業界統一の名称を定めました。それぞれの部位には、口・首・肩・胴など、まるで人の身体になぞらえた名称が付いています。改めてガラスびんを眺めてみると、背が高くスマートだったり、どっしり貫禄があったり…それぞれ個性が違う人のように見えてきませんか?!



王冠口部詳細



PP口部詳細



【ガラスびん各部名称】

国内における統一名称	欧米における標準名称
天	Sealing Surface or Locking ring
口 部	Finish
首 部	Neck
肩 部	Shoulder
胴 部	Body or Side
裾 部	Heel
底 部	Bottom
リップ	Lip
かぶら	Reinforce ring